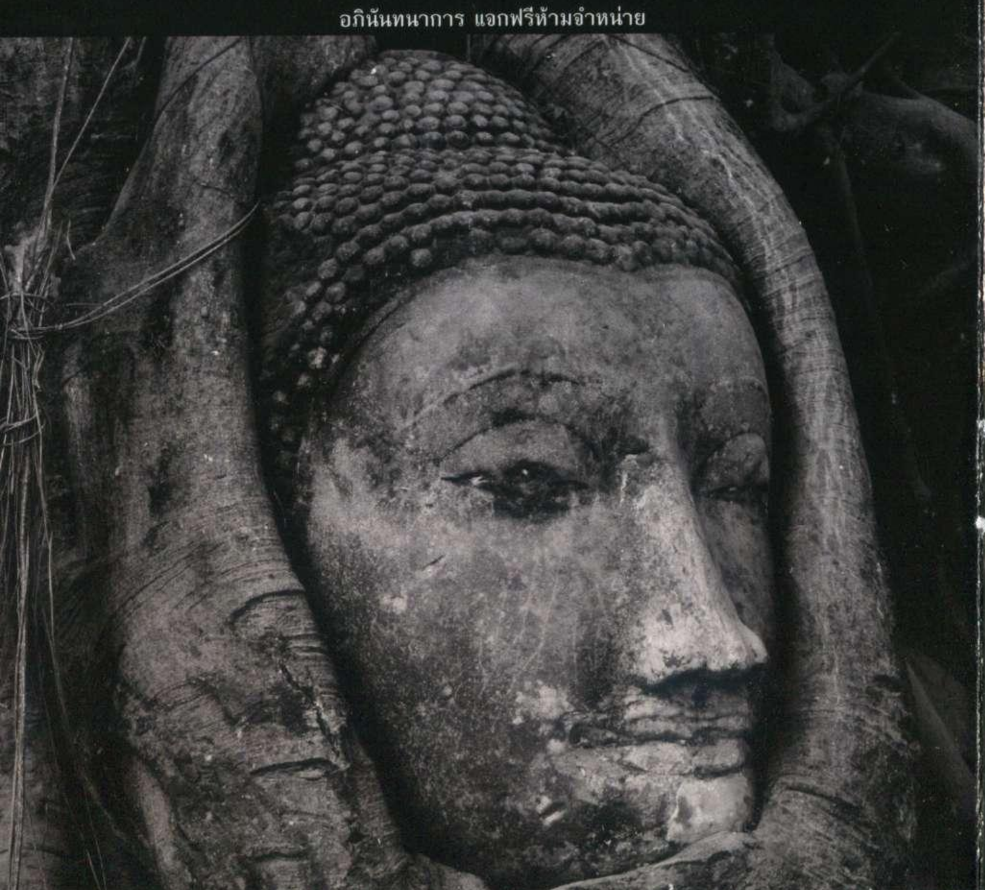
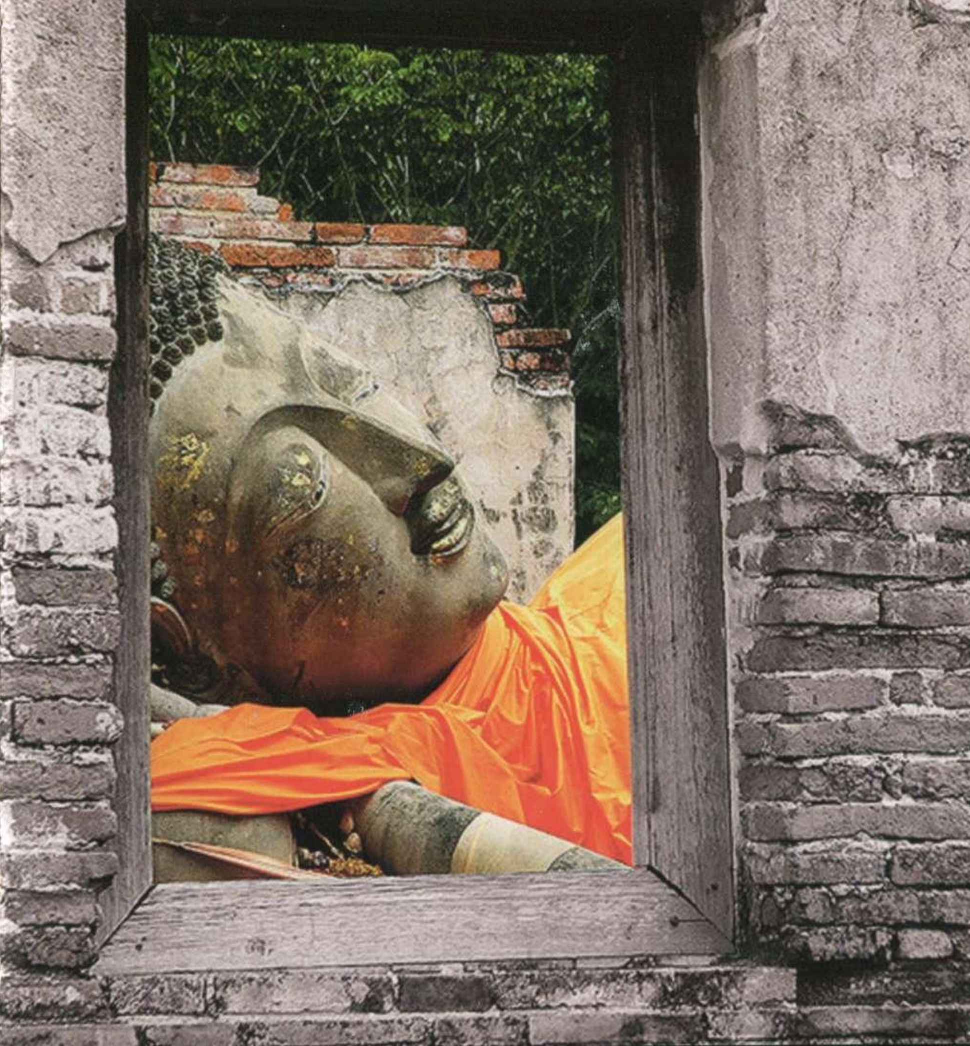


アユタヤ県庁

อภินันทนาการ แจกฟรีห้ามจำหน่าย

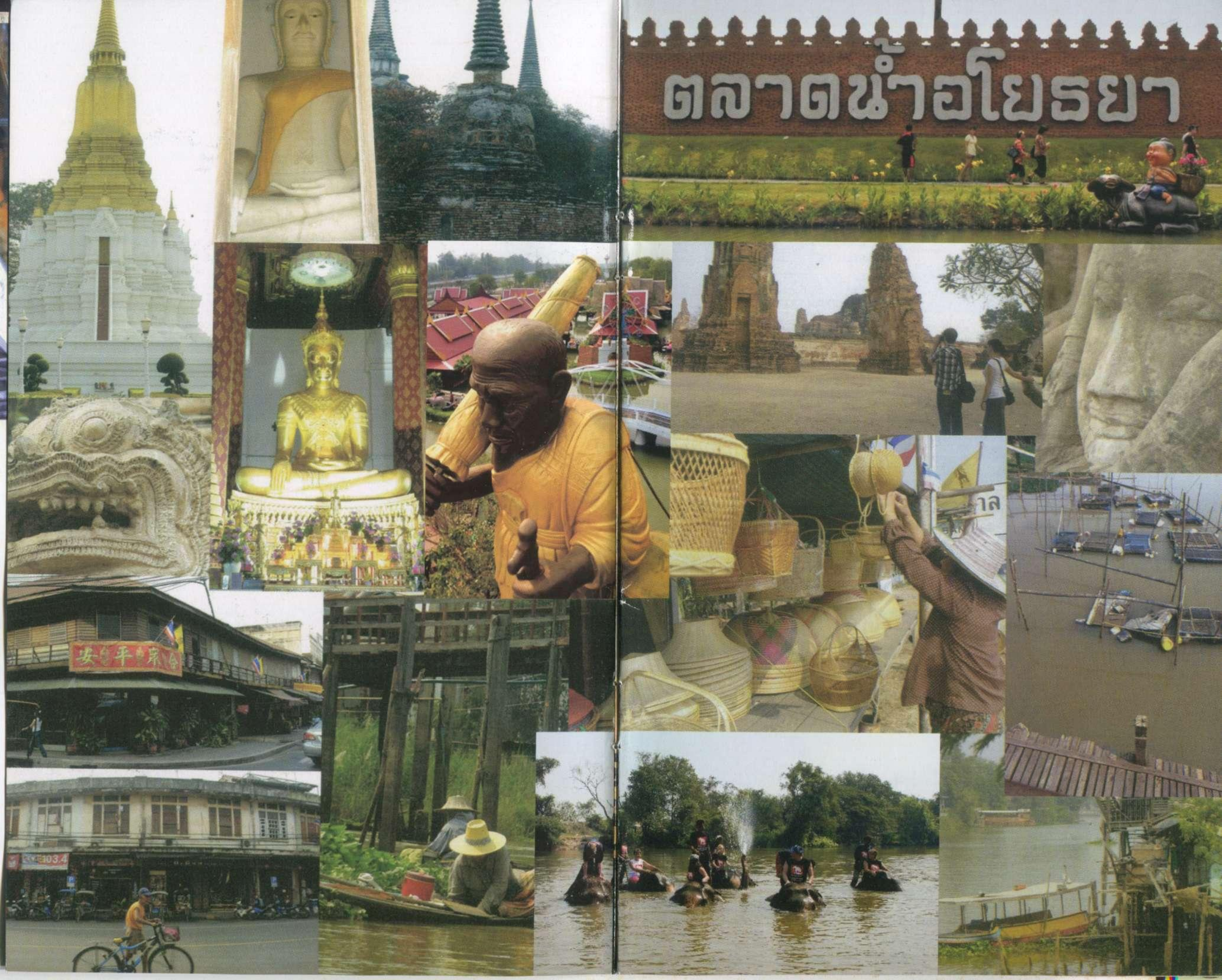


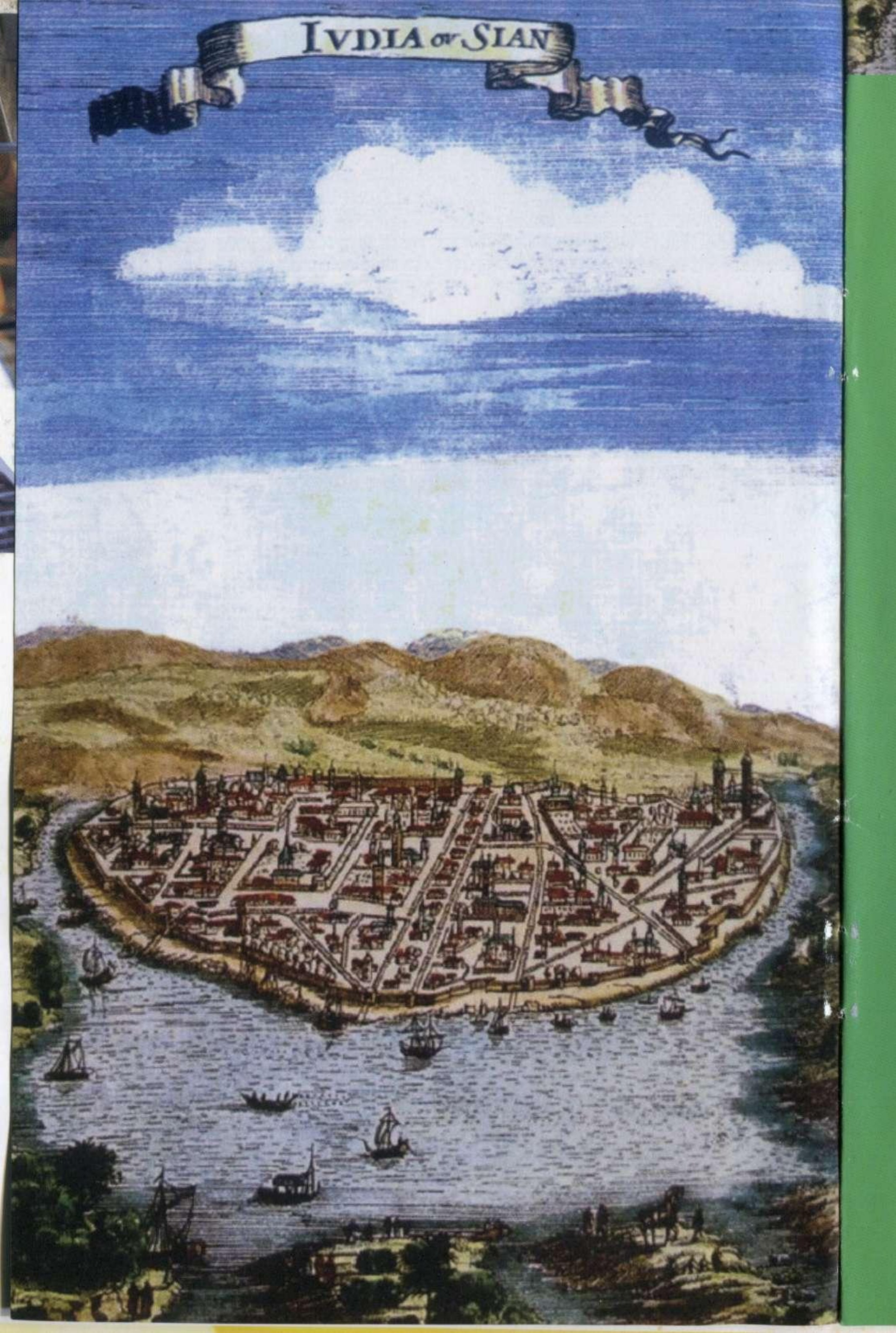


アユタヤ

栄華の都




ตลาดน้ำอโยธยา



目次

アユタヤ 7
観光地、名所、宮殿や建造物 9
王宮 9
ウィハーンソムデット館 9
バンヨンラタナット館 10
チャンタラカセム または 正面宮殿 10
プラッププラー・ジャトゥラムック 10
ピマン・ラッタヤ館 11
ピサイサンヤラック館 11
宮殿の城壁と門 11
ワンラン または 裏宮殿 11
プラー・シー・サンペット寺 12
ウィハーン・プラ・モンコン・ボピット 12
プラ・ラーム寺 13
マハタート寺 13
ラチャブラナ寺 13
セーナーサナラーム寺 14
スワンダララーム・ラチャウオラウイハーン寺 14
スアンルアン・ソップサン寺 14
ロカヤスタラム寺 15
プッサイサワン寺 15
チャイワッタナラム寺 15
チャオ・サム・ブラヤー国立博物館 16
アユタヤ歴史研究センター 16



象の囲いの建造物 17
ナコン・ルアン館 17
ナ・プラメン寺 18
プーカオトーン寺 18
クディタオ寺 18
サマナコット寺 19
ヤイ・チャィモンコン寺 19
バンサイ王室民芸品センター 20
バンサイ王室民芸品センターでの見所 21
バンパイン 23
特別行事 29
アユタヤ県の地図 30
どうやって行けば、いいですか。 32

アユタヤ

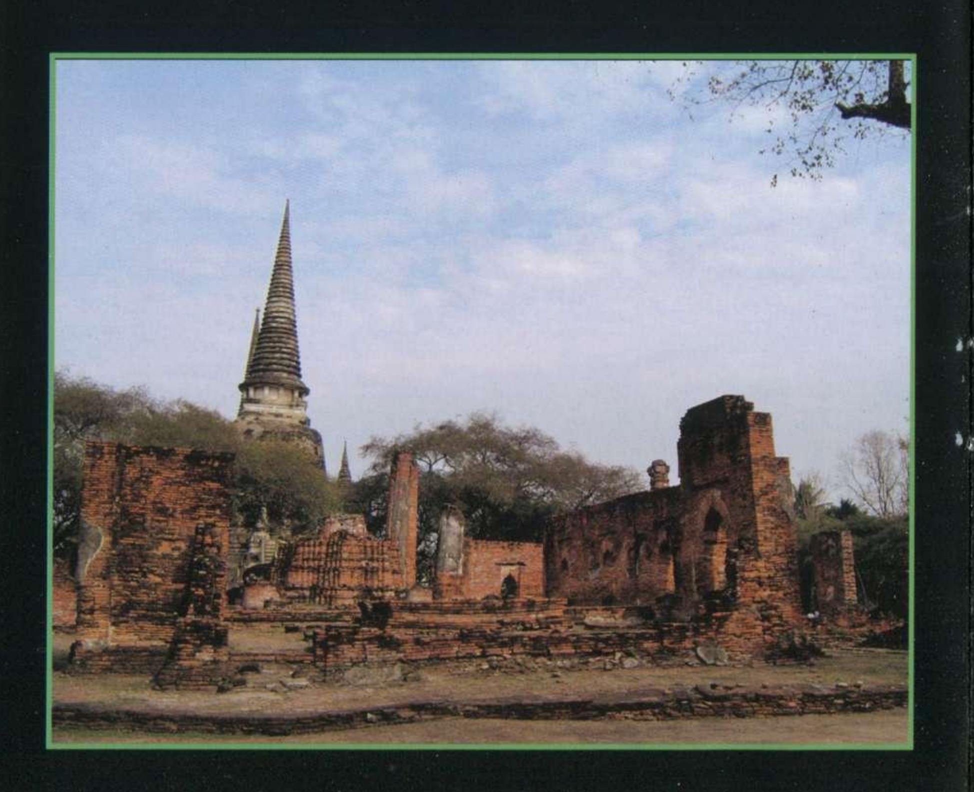
古都アユタヤは正式名はプラナコンシーアユタヤと言い、417年に渡りタイの首都でした。現在ではタイの主要観光名所の一つとなっています。

アユタヤ県は2, 557平方キロメートルと比較的小さく、 整備された道路，鉄道、水路とバンコクから距離的に近いことから簡単に足を伸ばすことができます。 タイの主要な水路であるチャオプラヤー川沿いに位置し、 4世紀に渡りシャムの首都であった同県は非常に重要であるといえます。

アユタヤ市はバンコクの北76キロの位置にあり、首都としての時代な忍ばせる巨大な廃墟と化した遺跡を数多く誇ります。少し南に向かえば， 完璧なまでに整えられた素晴らしい庭園に囲まれたバンパイン宮殿があります。また，同県は王妃陛下のバンサイ民芸センターでも知られています。

タイ民族が北の隣国から攻められ、南下せざるを得なかった時代、1350年にウートーン王によって建てられたアユタヤ市には今もなお当時からの遺跡や芸術品が数多く残っています。アユタヤ市が首都であった時代には1767年にビルマ民族によって、その輝く都が略奪され、破壊し陥落するまで、33代の国王と幾つかの王朝がその王国を支配しました

徹底的な破壊と歴史的記録からアユタヤは東南アジアで最も隆盛を極めていた都の一つであったことがわかります。 その歴史的・文化的重要性を鑑み、 現在の市に隣接する廃墟跡地であるプラナコンシーアユタヤ歴史公園はユネスコの世界遺産として1991年に登録されました。



観光地、名所、宮殿や建造物

アユタヤには王宮、チャンタラカセム宮殿（正面宮殿）、ワンラン（裏宮殿）の３つの宮殿があります。更に、プラナコンシーアユタヤ市外にも、バンパイン郡にはバンパイン宮殿、ナコンルアン郡にはナコンルアン館など、王族が訪問される時に使われる宮殿や建物があります。

王宮

現在、「 古代宮殿」と呼ばれる歴代の国王の住居であった宮殿はアユタヤの城壁の近くにありました。北へ2キロ先にあるチャンタラカセム宮殿から続く道が貫通しています。
古代宮殿は毎日8:00から18：00まで開館しています。 王宮敷地内にある重要な建造物は次の通りです。

ウィハーンソムデット館

正面と後方が切妻造りになっている館は一番広く、脇に同じく切妻造りのやや小さめの館があります。三面の回廊に囲まれたその館は載冠式のような数々の王室儀式が執り行われました。これがアユタヤで建てられた金箔で装飾された最初の建物でした。



バンヨンラタナット館

過去には「プラティナン・タイサ」という名前で知られていたこの館は王宮の後方部分にある池の中州にありました。四方が切妻造りになった屋根構造でした。

チャンタラカセム または正面宮殿



第17代アユタヤ国王であったタマラーチャー大王の時代に王子(ナレースワン王)の住居としてパーサック川の岸辺に建てられました。この宮殿もビルマ人によって破壊され、長い間放置されたままになっていました。現チャクリー王朝のモンクット王はたびたびアユタヤを訪れる際の住居として再建しました。次のような見所があります。

プラップブラー・ジャトゥラムック

この四方に切妻造りの屋根を擁したこの木製建造物は宮殿の東門の近くにあります。元々はモンクット王がアユタヤを訪れる際に使われた住居でしたが、後に芸術局の管轄下におかれ、チャンタラカセム国立博物館となりました。月曜と火曜、祝日を除く毎日、9:00から16:00まで開館しています。拝観料は30バーツです。



ピマン・ラッタヤ館

これは宮殿の敷地内にある建物郡で、行政庁舎や地方自治庁舎として数年使われました。

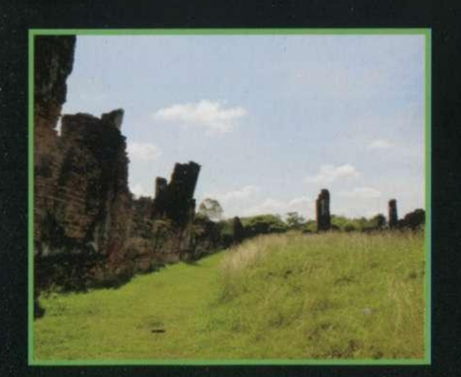
ピサイサンヤラック館



この四階建ての建造物は宮殿の西側にあります。ナライ大王の時代に建立されましたが、アユタヤ二度目の陥落の際に破壊されました。現王朝4世の時代に本来あった基盤に沿って再建されました。ラマ6世はこの建物に登り、天体観をされました。

宮殿の城壁と門

マ6世の御下命を受け建設されました。城壁の元々の基盤は最近の発掘調査で見つかり、本来は現在ある規模よりはるかに大きかったことが分かりました。

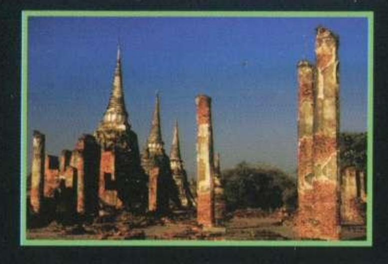


ワンラン または裏宮殿

この四階建ての建造物は宮殿の西側にあります。ナライ大王の時代に建立されましたが、アユタヤ二度目の陥落の際に破壊されました。現王朝4世の時代に本来あった基盤に沿って再建されました。

プラー・シー・サンペット寺

この重要で際立った寺はバンコクのプラシーラタナサダラム寺(プラケオ寺)と同様, 王宮の敷地内にあります。ラマティボディ世の時

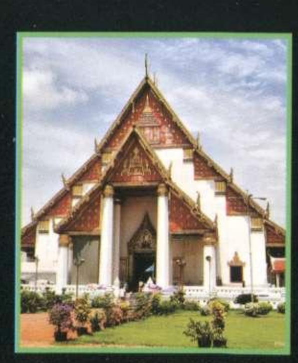


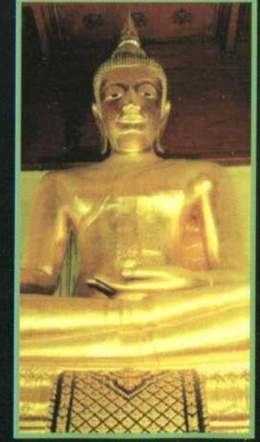


代に住居として使われた宮殿でした。ポロムトライロッカナット王が新たな住居建設の御下命を下され、この宮殿は僧侶や修行僧が住まない王室の寺となりました。毎日8:00から18:00まで開館しています。拝観料は30パーツです。

ウィハーン・プラ・モンコン・ボピット

鋳造で造られた大きな銅製の仏像でプラ・モンコン・ボピットは元々、王宮の外、東側に祭られていました。ソンタム王が西側に移転するように命じられ、現在の場所にモンドップ(尖塔)で覆われていました。アユタヤ二度目の陥落の際に建物と仏像は焼き討ちにあい、ひどく崩壊されました。現在あるものは、復元されたものです。本堂(ウィハーン)の北東にある開放的な場所は以前、サナーム・ナ・チヤワットと呼ばれ、王族の火葬が執り行われる場所でした。(現在はバンコクのサナームルアン、プラーメン広場で執り行われています。)



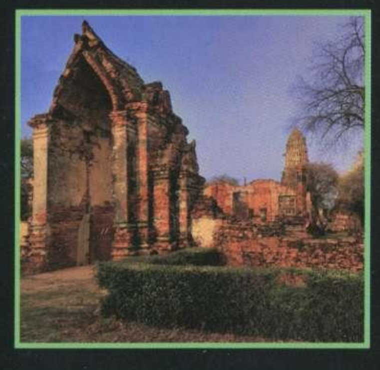


プラ・ラーム寺

この寺は王宮の敷地の外、南東方向にあります。ラメスワン王の御下命を受け、王の父にあたるウトー ン王の火葬が執り行われた場所に建立されました。寺の前の大きな池は当初、「ノーンサノ」と呼ばれていましたが、後に「ブンプラ・ラー ム」と名を変え、現在は「プラ・ラーム公園」と呼ばれています。プラ・ラーム寺は毎日8:00から18:00まで開館しています。拝観料は30パーツです

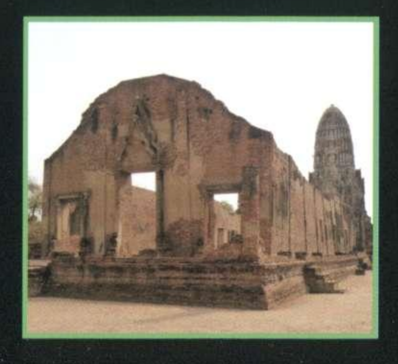
マハタート寺

この寺は王宮の東側の正面、パタン橋の近くにあります。ポロムラーチャティラート1世の時代に建てられており、仏舎利が祭られています。マハタート寺は毎日8:00から18:00まで開館しています。拝観料は30バーツです。



ラチャブラナ寺

この寺はパタン橋の近く、マハタート寺の反対側にあります。ボロム・ラーチャティラート2世(チャオ・サムパラヤ)は、チャオアイとチャオイーが象に乗って対決し、両者とも命を落としたこの場所に二つの仏塔を建立するよう命じました。後に、そのすぐ近くにウィ八-ン(本堂)とプラン(仏塔)を建立し、寺院となりました。ラチャブラナ寺は毎日8:00から18:00まで開館しています。拝観料は30パーツです



セーナーサナラーム寺

この古い寺は「スア寺」という名前がついており、チャンタラカセム宮殿の裏側にあります。主な見所は2体の仏像です。プラサムプタムニというウボソット（布薩堂）祭ってある主となる仏像と、ウィハーン（本堂）に祭られているプラインプレーンです。2体とも、ビエンチャンから移されました。

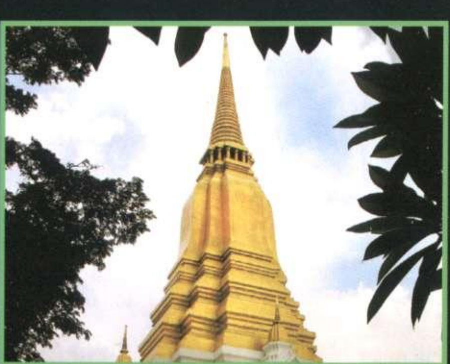
スワンダラーム・ラチャウオラウイハーン寺

元々はトーン寺と呼ばれていたこの寺はポムペットの近く、南東方向にあります。チャックリ王朝直属の寺院であることから、同王朝の歴代の王によって改築されてきました。

スアンルアン・ソップサン寺

この寺は島になっている街の西側にあります。チャカラパット大王の御下命により、スリヨタイ王妃の火葬の後、ソップサワン寺があった場所に隣接する王宮の庭の庭園に建てられました。
「ジェディ・シー・スリヨタイ」と呼ばれる金箔で覆われた大きな仏塔は同王妃の記念碑として、火葬された場所に建立されました。





ロカヤスタラム寺

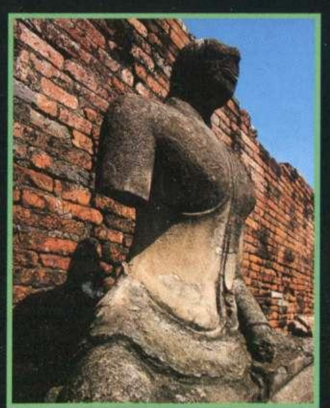
この寺は王宮の裏手、ヴォラテータラム寺に隣接しています。古代王宮の裏を通り、ウォラポー寺とウラチェタラム寺の前を通って行くことができます。煉瓦を石膏で固めた全長42メートルもの大きな涅槃仏像があります。仏像の近くにはウィハーン（本堂）の大きな6角形の柱を見ることができます。

プッサイサワン寺

この寺は島となっている街の南側対岸にあります。ウトーン王と家臣がアユタヤを新しい都として興すため、初めて入植した地域に建てられ、「ウィアーンレック」と呼ばれていました。

チャイワッタナラム寺

この寺はブッタイサワン寺と同じく島になっている街の西側の岸辺にある寺です。プラサート・トーン王の御下命より建立されました。角にある現存する本仏塔と仏塔群は良い状態で保存されています。チャイワッタナラム寺は毎日8:00から18：00まで開館しています。拝観料は30バーツです。





チャオ・サム・ブラヤー国立博物館

この博物館はタイ観光庁事務所の反対側にあります。様々な骨董品、仏像や有名な彫刻を施した板などを展示しています。尖塔の中にあった500年以上前の宝物箱には仏舎利と芸術品が収め





られています。また、博物館には地元の職人がつくった芸術品の数々が収集されています。月曜と除く毎日9:00から16:00まで開館しています，入場料は30バーツです。

スアンルアン・ソップサン寺

このセンターはロチャナ通りにあり、アユタヤ研究、特にアユタヤがタイの首都であった時代の研究を専門にする国立研究所です。同センターはアユタヤ時代から復元した物品を展示し、アユタヤの歴史博物館としての役割を担っています。またアユタヤに関する歴史的な資料の情報提供や図書館としても使われています。毎日9:00から16:00まで開館しています。詳しくは(035) 245123-4までお問い合わせ下さい。入場料は100バーツです。



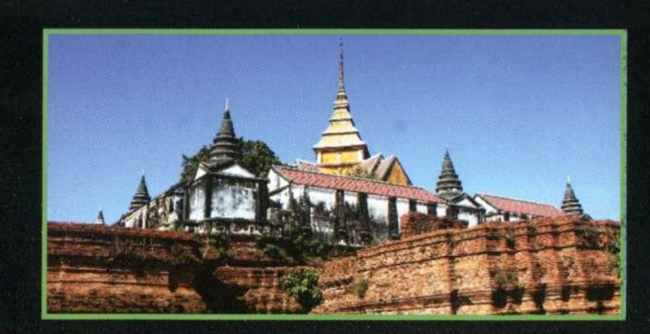
象の囲いの建造物

この建造物は王族が象の駆り集めをご覧になった御席を利用したものです。この建築物はプラナコンシーアユタヤ郡、スアンプリック村にあります。見た目は、正面中央から45度の角度で両手方向に森の中へ伸びる丸太の柵で囲まれた巨大な檻です。この囲いの周りには煉瓦でできた丸太の高さまである壁が立っています。囲いは政府によって1988年に改築されました。



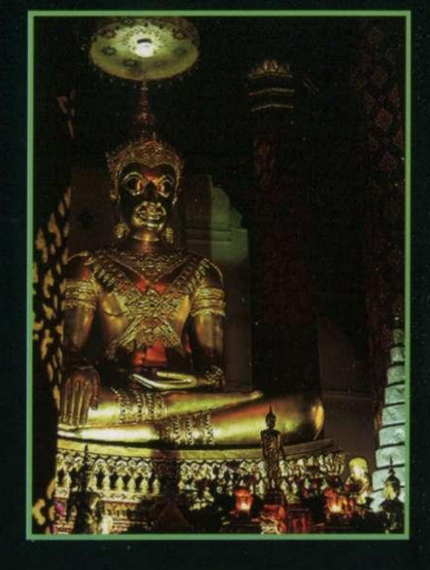
ナコン・ルアン館

この建物はナコンルアン郡ナコンルアン村のパーサック川の東岸にあります。仏の足跡を祭る祭壇に王族が訪問される際に王族の宿舎として使われました。ソンタム王の時代に建てられたとされており、ブラサートトーン王の時代に石膏で固めた煉瓦に改良されました。



ナ・プラメン寺

この寺の元の名はプラ・メルラチカラム寺といいます。王宮の反対側のコーン・スーブの岸にあり、布薩堂は初期のアユタヤ風建築です。一番興味深い品は王衣をまとった主となる仏像と小本堂にある古い石仏像です。毎日8:00から17:00まで開館しています。拝観料は20バーツです。



プーカオトーン寺

王宮から北西2キロのところにあるこの寺はラーメスワン王の時代、1387年に建立されました。



クディタオ寺

駅の東側正面にあるこの古寺は他の寺より精巧な職人技の美しい装飾が施されています。



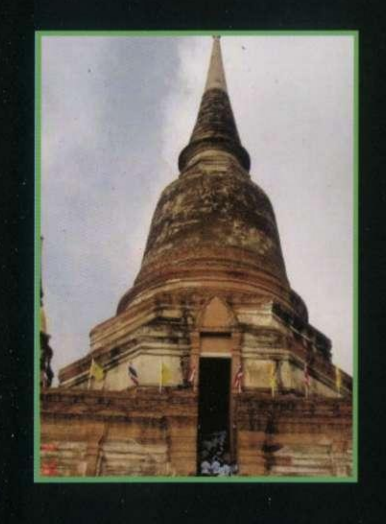
サマナコット寺

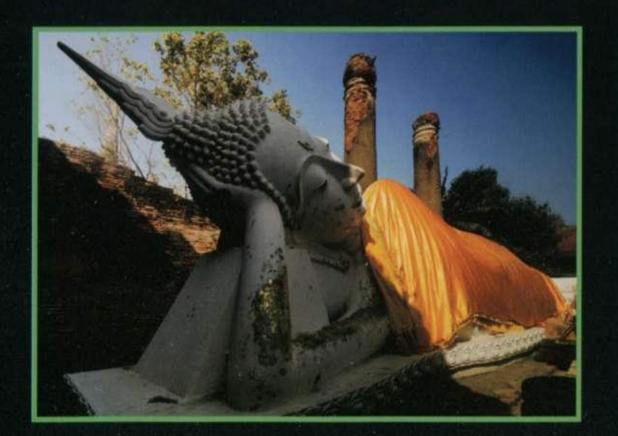
クティダオ寺の近くにあり、チャオプラヤコサ（レック）とチヤオプラヤコサ（パン）によって、ナライ大王の時代に改築されました。主な見所は独特の様式の大きな仏塔です。



ヤイ・チャィモンコン寺

この寺はウトーン王の時代に建立され、駅と同じ街の南東方向の外側にあります。遠くからも見える大きな仏塔があります。ナレースワン大王は象に乗って戦いを制したお祝いにこの仏塔の建立を命じました。プーカオトーンの大きな仏塔に匹敵するような大規模建設を意図し、プラ・ジェディ・チャイモンコンと名付けまじた。毎日8:00から18:00まで開館しています。拝観料は20バーツです。





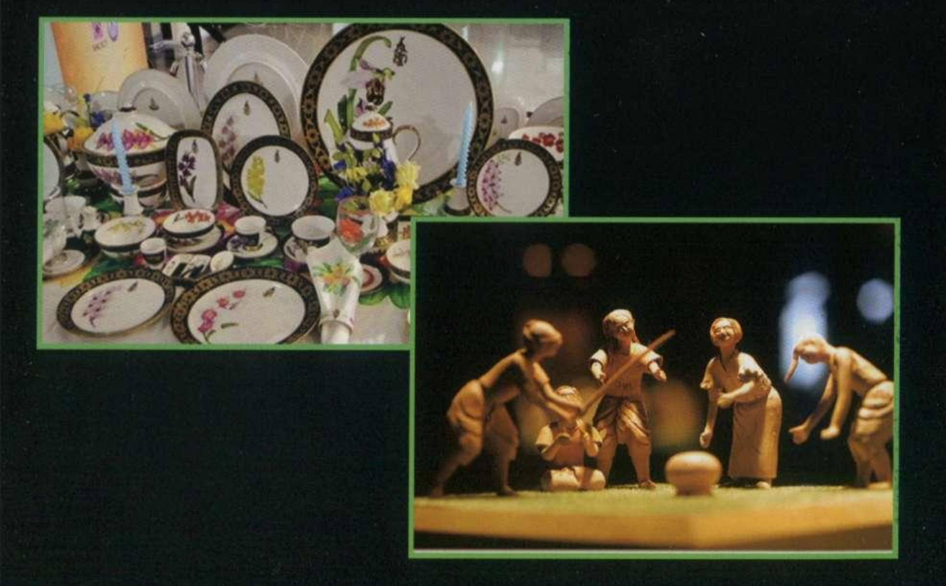


バンサイ王室民芸品センター

毎日8:00から18：00まで開館しており、入場料は100バーツです。バンサイ郡チャンヤィ村にある285ライ（141—カ—）の広大な敷地にこのセンターはあります。アユタヤや他県の農民を対象にここで民芸品製作実習が開かれています。このセンターではタイの四地方の農民の生活振りや働きぶり、民芸品のつくられ方を垣間見ることができます。このセンターは1976年7月21日に設立された王妃のサポート財団の傘下にあります。ここにある製品や活動には次のものがあります。

- しだ製の籠
- 編み籠
- 手織り絹・綿
- 絹染め
- 木彫り
- 手作りミニタイ人形
- 家具
- 市製品





全ての製品はこのセンターとチトラダショップの各店で販売されています。

バンサイへは船で行くか、ガンペンペット通りにある北バスターミナルからバスで行くことができます。バスは5:30から18：00まで、30分毎に出てきます。料金はエアコンバスが25バーツ、エアコン無しのバスが17バーツです。車ではバンパイン交差点から約18キロの地点から脇に入るバンサイ- サームコック通りに通っていくことができます。

バンサイ王室民芸品センターでの見所

サハプラミンクワン（本館）では四方が切妻造りになっているタイ式建築を取り入れたものです。その4階建ての建物はセンター敷地の中央に構えて、とても印象的です。地階はバンサイ民芸品センターや国内の他の工芸品センターからの工芸品が販売されています。1階と2階にはバンサイ民芸品センターの秀逸品が展示されており、3階には会議室、地下は倉庫として使われています。



工芸品村にはタイの各地方特有の建築様式を取り入れた伝統的家屋があります。タイの生活様式、劇や出し物といった芸術と文化展示・実演する恒久的な場所です。



鳥園には二ヶ所大型施設があり、数多くの珍しい鳥が飼われています。内部には自然を醸し出す滝や小川があり、訪れた人々が吊り橋を渡って、施設の上部から鳥たちを間近で観察することができます。入場料は10バーツです。



ワンブラー（淡水水族館）はタイで最大規模を誇る淡水水族館です。8面体の採光を横切ると、そこは水族館の入り口です。そこから廊下を進んでいくと、巨大な変形三日月形の水槽へと導かれ、淡水の世界を探索することができます。タイの北部から中部平野を貫流するタイの大動脈ともいえるチャオプラヤー川生態系には様々な有機生物が生息しています。筒状の水槽にはタイで発見された最も獰猛な食肉魚が飼育されています。入場料は20バーツです。



王室別荘では地元で容易に入手可能な資材で建てられたタイ中部の建築様式です。その形と細部には伝統的な生活様式の簡素な美しさが反映されています。ここは王妃や他の王族がセンターを訪れる際のご休憩所となっています。花や草の茂み、うっとりするような人工の滝で飾られた美しい環境です。

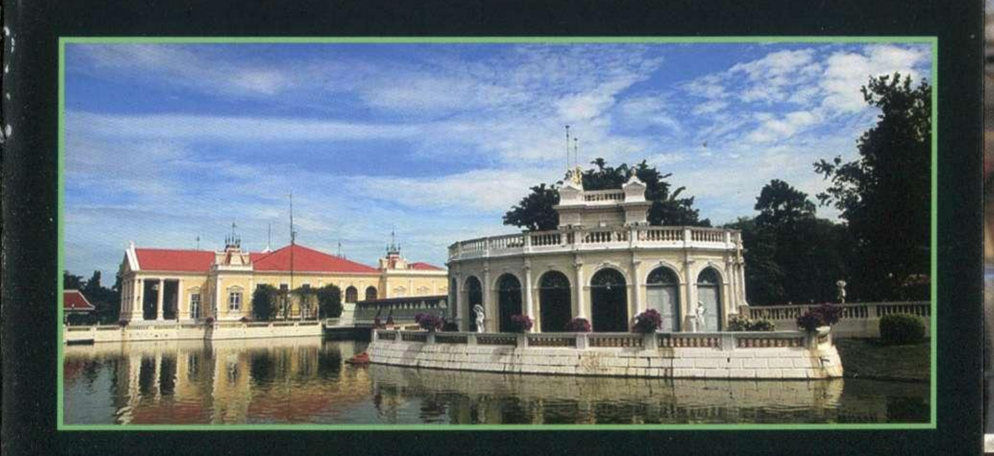


バンパイン

はアユタヤの一区域で、バンコクの北、電車で58キロ、車では61キロのところにあります。バンパインは多くの観光客を魅了する宮殿で有名ですが、元々は川の中州があったところでした。プラサートトーン王がアユタヤの王であった時代（1630-1655年）、チュンポンニカヤラム寺はプラサートトーン王の時代に建築されたものがそのまま残っており、プラサートトーン王以降も、アユタヤの歴代の王によって地方の住居として使われてきました。バンコクへ遷都された後、バンパイン宮殿は80年間放置されてきました。ラマ4世の時代（1851-1868）になってから、再び国王によって訪問されるようになりました。ラマ4世は元あった宮殿の敷地内にもう一軒住居を建てられました。息子のラマ5世（1868-1910年）はこの宮殿を気に入られ、毎年ご滞在になり、今ある宮殿のように改築されました。

バンパイン島はアユタヤ市のある島から40キロのところにあります。アユタヤからバンパインへはパホンョティン通りの35キロ地点で右折し、7キロ行くとバンパイン宮殿があります。

毎日8:00から6:00まで開館しており、入場料は100バーツです。詳しくは（035）261044、261935までお問い合わせ下さい。



プラティナン(宮殿) アイサワン・ティパヤ・ア(個人的自由の神聖な御座)

プラヒナンアイサワン・ティ・パヤ・アトは1876年にチュラロンコン王によって外側の池の中央に立てられた4ケ所の玄関と尖塔のある屋根が特徴的なタイ式建築物です。輿を表装する前に王章を変更するための館として、王の父にあたるモンクット王が建てた、王宮にあるプラティナンアンポンピムックプラサートの複製です。チュラロンコン王はこの建物を下になったプラサートトーン王による建築物に因み、アイサワン・ティパヤ・アトと名づけました。この建築物は現在、息子のワチラウット王(ラマ6世)によって設置された、陸軍元師の制服をまとったチュラロンコン王のブロンズ像が収められています。



プラティナン(宮殿)ウォロパットピマン(素晴らしく、輝かしい天国のような住居)

プラヒナン・ウォロパットミマンは1876年にチュラロンコン王によって建てられたネオクラシック様式の一階建ての屋敷です。拝謁の間と控えの間にはタイ歴史上の重要な出来事やタイの文学から抜粋された場面を表現した油絵が飾られています。一連の歴史的絵画は1888年、チュラロンコン王が御下命を下し、描かせたものです。この建物の内部にある私的居住区は現在もなお両陛下が宮殿に宿泊される際に使われています。



プラティナン・ウッタヤーン・プミサティアン(安泰な地の庭)

プラティナン・ウッタヤーン・プミサティアンはチュラロンコン王がバンパイン宮殿に滞在される際、時には年に三度もお泊りになる程、好んでお泊りになった宿舎でした。1877年に建てられた2階建てのスイス

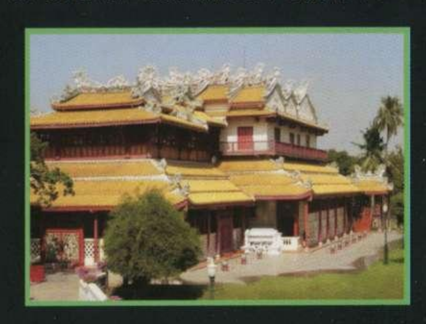


農家風のこの木造建築の屋敷は二種類の濃淡の緑で塗られています。後にロシア皇帝ニコラス世が皇太子時代、1890年にご訪問された際に随行したロシア官僚のオクトムスキー王子の言葉を借りれば、「豪華な調度品と洗練された趣味と心地よさ」と表現された場所でした。しかし、不幸にも1938年に小規模な修復工事をしていた時に不慮の火災に見舞われました。現在ある建物はシリキット王妃の御下命で建設されたものです。銃眼を設けたネオゴシック式の塔に似せた水槽は火災を逃れました。



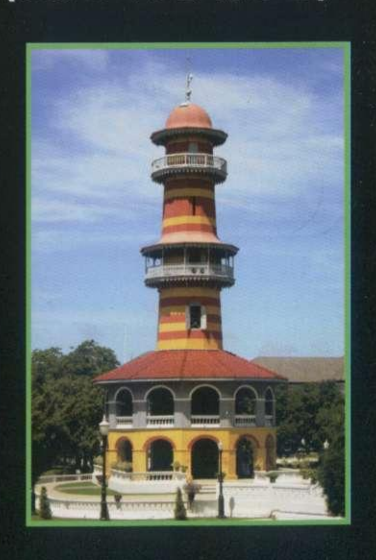
プラティナン(宮殿)
ウィーハート・チャムルン(天上の光)

この中国式の二階建ての建物は1889年に中華商工会議所に当たる団体によって建設され、チュラロンコン王に献上されたものです。オクトムスキー王子は、「装飾を施したタイルの床といい、黒壇でできた大型調度品といい、金銀、陶器がふんだんに装飾品として使われており、柱や窓に精巧な透かし彫りが施され、実にロマンスの宮殿である。目の前にはバンパイン宮殿をはっきりと眺望することができる。中国の皇帝でさえ「これより素晴らしい宮殿はないだろう」と記録しました。



ホー(塔)ウィトゥン・タサナ(賢人の見晴らし)

1881年、チュラロンコン王によって建てられた周囲の田園地方を見渡すことのできる展望台です。

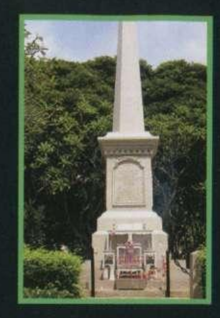


劇場

この劇場はラマ6世の御下命により、ウッタヤーン・プミサティアン館の西側にある庭園の池近くに、夫人の住居として建てられました。

スナンダクマリー・ラタナ王妃記念碑

1881年、スナンダクマリー・ラタナ王妃はバンパイン宮殿に向かって、チャオプラヤー川を船で上っている途中、船が沈み、溺死しました。チュラロンコン王はこの悲しみを乗り越えるため、王妃の記念碑として大理石の方尖塔を建てました。王はご自身でタイ語と英語の献呈の辞を捧げられました。



サオワバークス・ナリラッタナ王女とその3人の御子記念碑

1887年、チュラロンコン王の夫婦であるサワバークス・ナリラッタナ王妃の記念碑のそばに、遺影を掲げる大理石の方尖塔を建てられました。

サパカンラチャプラユン(王族の集会場)

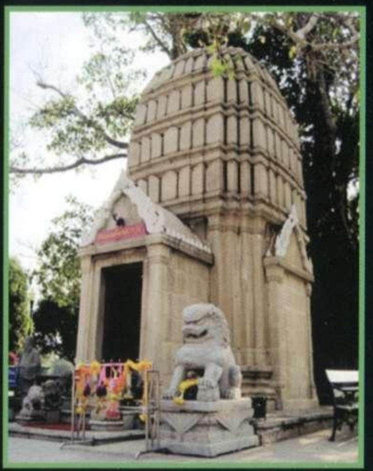
名前からも分かるとおり、このコロニアル様式の二階建ての建物は1879年にチュラロンコン王の兄弟としてその一行をもてなす場所として建てられました。





ホー（神殿）ヘモンティアン・テワラート（黄金の宮殿、神々の王）

ホー・ヘモンティアン・テワラートは1880年にチュラロンコン王によって建立された石のクメール式プラサート（王または神の住むトウモロコシ型建築物）で、アユタヤのプラサートトーン王に捧げられました。プラサートトーン王の時代に金のクメール式小型プラサートが見つかったため、王の名前の直訳は黄金宮殿の王という意味です。

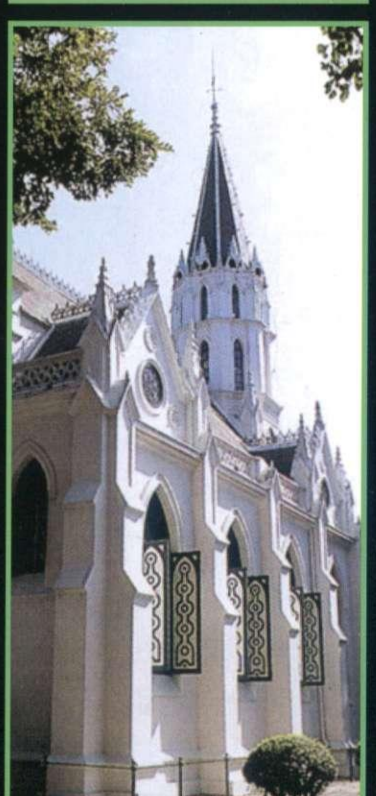


チュンポン・ニカイラム寺

この寺は1632年にプラサトトーン王の御下命により駅に続く橋の近くの島の端に建立されました。

ニウェート・タマプラワット寺

島の外側の南部、宮殿の反対側に1878年、ラマ5世の御下命により建立されました。他の寺と違う点はゴシック風の建物で、タマユット派の僧侶に属するものです。



特別行事

バンサイ・アート&クラフトフェア 1月下旬

毎年、バンサイ民芸品センターで催されるこのフェアは王妃のサポート財団の製品を展示即売するとともに、地元で作られた製品の展示と実演もあります。民芸音楽や舞踏の上演もフェアを活気付けるものとなっています。

ソンクラン祭り 4月13日-15日

伝統的なタイの新年はソンクラン水掛祭りです。一番暑い季節に、遊び心を加えて、通りに一歩出れば、びっしょり濡れてしまうこと間違いなしです。特別祭事がウィハーンパーの前で開催されます。

モンコン・ボピット バンサイロイクラトン祭り11月

バンサイ民芸品センターではロイクラトンに特別なタベを開催しています。祝賀行事には伝統的な灯蕾（クラトン）作り、美人コンテスト、手工芸の実演・展示、そして川への灯葦流しがあります。



AYATTHAYA CITY MAP

อยุธยามรดกโลก

AYUTTHAYA HISTORIC CITY WORLD HERITAGE

N

Wat Phu Khao Thong
Wat Mae Nangpluem
Wat Sam Wihan
Wat Kae
Wat Monthop
Hua Ro Market
Wat Ayothaya
Shipbuilding Industry And Technology College
Wat Sika Samud
Wat Maheyong
Wat Kudi Dao
Chantharakasem National Museum
Post Office
Chomsurang Uppatham School
Ayutthayanusorn School
Wat Prasat
Wat Intharam
Wat Khun Saen
Thai-Pakistan Mosque
Wat Wong Khong
Wat Senasanaram
Wat Racha Praditsatam
Wat Na Phra Meru
Wat Suwandawas
Ayutthaya Kindergarten
Wat Choeng Tha
Wat Phanomyong
Wat Kuti Thong
Sa Bua Canal
Pa Maphrao Road
Pa Sak River
U-Thong Road
Wat Samanakottharam
Wat Chang
Ayotthaya Floating Market
Nurun Imanwaritsunna Mosque
Wat Phromniwas Worawihan
Pridi Phanomyong Memorial
Wat Yannasen
Rajamangala University Of Technology
Kalahom Road
Amporn Dept. Store
Municipal Office
Ayotthaya
Bus Station
Chao Phrom Market
Wat Thamniyom
Pratuchai School
Wat Thammikkarat
Ancient Palace
Wat Ratburana
Naresuan Road
Khlong Makham Riang Road
Wat Tha Ka Rong
Darutsunna Mosque
Wat Tuek
Technical College
Wat Worachatha Ram
Wat Wora Pho
Ho Rattanachai Road
Ayutthaya Railway Station
Wat Mahathat
Thai Boat Museum
Wat Phra Si Sanphet
King U-Thong Monument
Bung Phra Ram Park
Bang Aian Road
Ayotthaya Riverside
U-Thong
Wat Lokkayasutharam
Polytechnic College
Wihan Phramongkhon Bophit
Police Station
Ban Khun Phra
Khlong Tho Road
Wat Phra Ram
Rochana Road
Wat Thammaram
Wat Phichai Songkhram
Khun Phan House
PathonRoad
Chedi Wat Sam Pluem
Krungsi River
Chedi Si Suriyothai
Elephant Kraal
Ayutthaya Wittayalai School
Wat Kasattrathirat
City Pillar Shrine
Chao Sam Phraya National Museum
Wiang Fa
Wat Khun Muang Jai
Si Suriyothai Park
Tourist Police Station
Rochana Road
Tourism Authority of Thailand
Provincial Court
Wat Kluay
Provincial Stadium
Ayutthaya Tourist Center (Old City Hall)
Ayutthaya Historical Study Centre
Chikun Road
Si Sanphet Road
Ayutthaya Rajabhat University
Wat Suwan Dararam
Wat Chong
Wat Borom Phutthram
Planetarium
Wat Ko Kaeo
Phet Fortress
Wat Rattanachai
Wat Khun Phrom
Wat Nang Kui
River View Place
Wat Yai Chaimongkhon
Phra Nakhon Si Ayutthaya Historical Park
Khlong Tho Road
Wat Bang Kacha
Siriyalai Palace
Wat Phananchoeng
Wat Chaiwatthanaram
Wat Uboset
Phra Nakhon Si Ayutthaya Hospital
Chao Phraya River
Islam Watthana Mosque
Si Nakharin Park
U-Thong Road
Aliyinnurol Mosque
Dutch Settlement
Saint Josephs Church
Wat Phutthai Sawan
Wat Kiang Pak Kran
309
3060
3477
3058
3263
3469
3059

0 0.5 1 1.5 km

行き方

電車で

バンコクのフアランポーン駅から電車が出ています。詳しくは0-22204334またはホットライン1690までお問い合わせ下さい。

バスで

ガンペンペットII 通りにあるバンコクバスターミナル（電話番号0-2963 2852-66）からアユタヤへは午前5:30から午後7:20まで、エアコンバスが30分毎にでています。バンパイン、バンサイ、アユタヤ行きのエアコンなしのバスは午前5:30から午後7:20まで頻繁に出ています。

車で

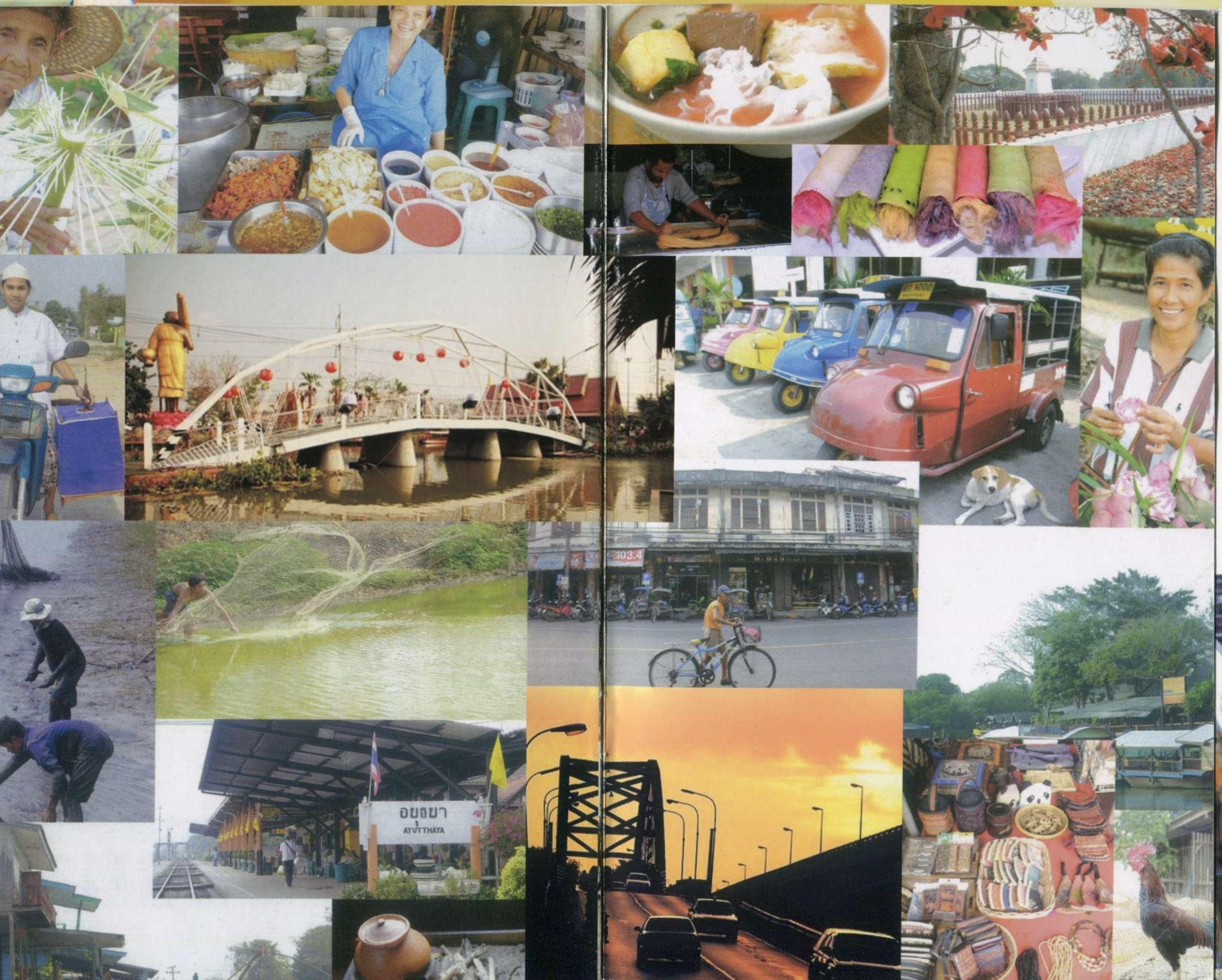
アユタヤへはハイウェイ1号線（パホンヨティン通り）を通ってハイウェイ32号線を進みます。

情報提供元：タイ観光庁（TAT）

観光に関するお問い合わせは

- タイ観光庁（TAT）プラナコンシーアユタヤ県中部第6区事務所
電話番号0-3532-2730-1、0-3524-6076-7
（Eメール：tatyatya@tat.or.th）
- 観光情報センター（TATクールセンター）
- ウェブサイト www.tat.or.th
Eメール : center@tat.or.th




อยุธยา
AYUTTHAYA
103.4